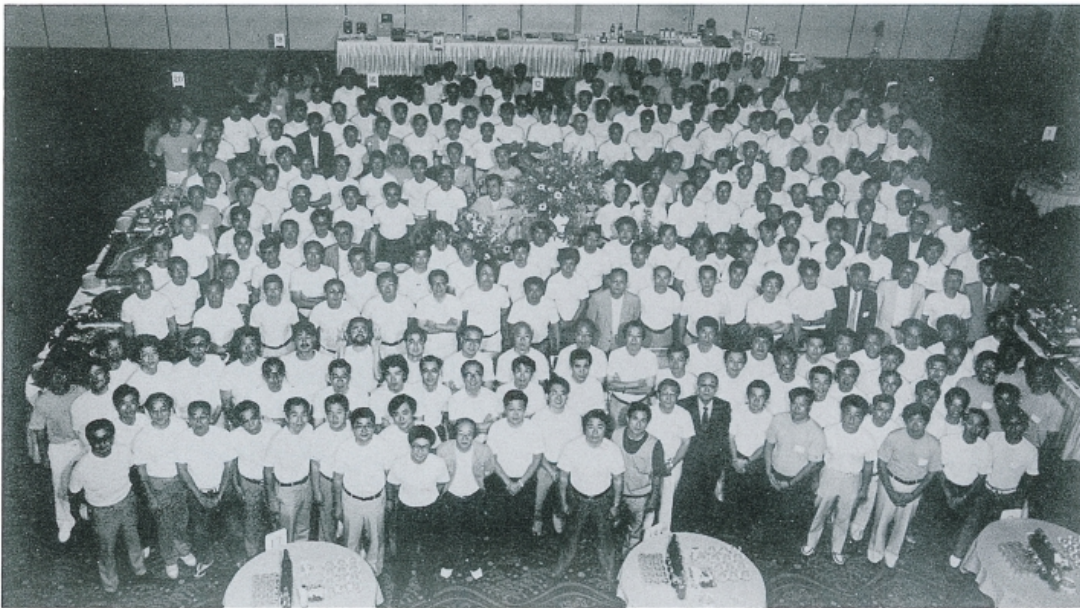


緑友

No. 59
1985年12月10日発行

題字 今井直一筆

みなと神戸に集う!! 284名 第28回全国印刷緑友会神戸大会



▲ 神戸ポートピアホテル「偕楽の間」



'85 KOBE
You I 遊 ing — 報告号



■第28回全国印刷緑友会 神戸大会を終えて

全国印刷緑友会 会長 古賀 健一

感謝・感激！この一言に尽きます。大会には300名もの緑友会員が一同に会し、you I 遊ing のテーマで実にすばらしいひとときとなったからです。

一口に280名と言いますが、全国の緑友の会員は1200名余。実に全会員の4人に1人は全国から馳せ参じてくれたこととなります。こんな団体が他にあるでしょうか。明日の自分の企業のため、業界のためにと強い参加意識を感じ神戸に集合し語りあい、情報を交換し、同志的結合を図っていただきました。迎え入れた神戸若人会の運営もすばらしかった。一糸みだれぬチーム・ワークと心のこもった暖かい雰囲気を作り出し、又数々のアイデアが大会運営に盛り込まれていました。テーマも良し、進行もスムーズ、藤本義一先生の話も皆を引きつけた。参加者全員が満足して帰られたと思う。

参加した会員のみならず送り出してくれた各地グループの全会員に、そして主管の神戸若人会の皆さんに心から御礼申し上げます。

しかし手放しで喜こんでいて良いのだろうか？現実には厳しい。大会を終え各企業の毎日の業務に戻られた諸兄も日々の戦いが再開されたことと思います。

グループによっては活動が少なく厳しい試練に立たされているグループもあると聞きま

す。

あの8月12日。大参事となった日本航空の事故。実に520名もの犠牲者が出て連日事故のようがテレビ、新聞などで報道されました。亡くなられた方々にはご冥福を祈るばかりですが、その事故に関して伝えられた小さな記事から私は目をそらすことができませんでした。

それは、その事故のため、2つの中小企業のそれぞれの社長の突然の不幸により、その企業も同じ運命をたどって倒産したというニュースです。

ワンマン経営だったのか、ナンバー2の方が居られなかったのか、その他の事情があったにせよ実に大きな教訓を私たちに与えていないでしょうか？

会員の中にはもちろんtopの方も、ナンバー2の方々も多いかと思いますが、倒産した会社の社員や家族、取引先、社会的な影響などを考えるとき、私たちの使命の重大さを再確認しないではおられません。

チャレンジ・チェンジ・クリエイトをもう一度心の中で叫んで見ようではありませんか。

そして健康にはいうまでもないことですが充分気をつけたいものです。



「第28回全国印刷緑友会 神戸大会開催!!」



第28回全国印刷緑友会の神戸大会が9月21、22日の両日、神戸ポートアイランドの国際交流会館と神戸ポートピアホテルで開かれた。

同大会は今回28回目を迎え、神戸印刷若人会が担当、大会には全国から青年印刷人 280名余が参加して行われた。午後1時より小河秀昭君（神戸）の司会で始まり、高尾八州雄大会実行副委員長の開会宣言ののち、国家斉唱、宮地敏昭君（佐賀）による綱領先唱、物故者への黙禱、来賓及びグループ紹介へと続いた。

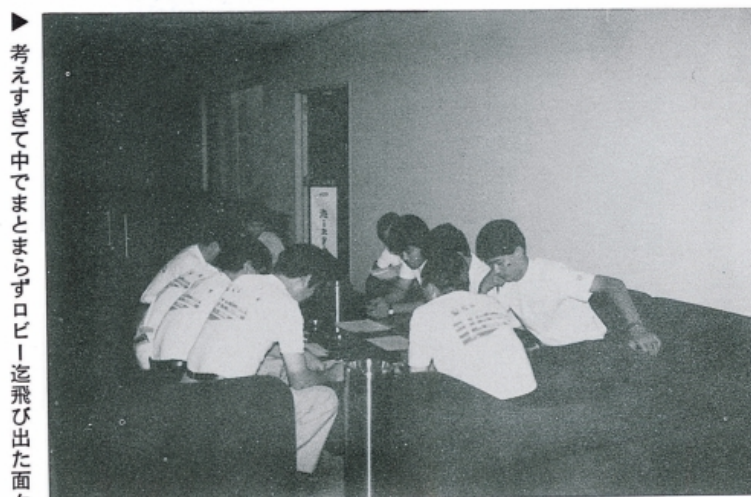
続いて今回大会委員長の神戸印刷若人会の若葉真弘君が歓迎の挨拶を次の様に述べた。

「我々を取り巻く経済環境は非常に厳しいものがあり、欧米各国との貿易摩擦は極めて激しく、市場解放をせまる圧力は益々強くなっているおり、今日だけは青年印刷人として一時仕事を忘れ、家庭を忘れて、YOU（友）

I（愛）遊ing で遊びに徹して、人生における「ゆとり」、仕事の中での「ゆとり」について大いに語り合い、考えてほしい」。また、全国印刷緑友会会長の古賀健一君は「本年度の活動方針として、挑戦・変革・創造こそ、現在の時代をそのまま反映しているものだと感じている。青年として挑戦し変革し、創造していくことが時代や我々の活動している情報産業の場からも要求されている」と挨拶をした。更に来賓の中畑裕行兵庫県印刷工業組合理事長が「ゆとりある業界を創造して、先輩から受け継いだ立派なこの全国印刷緑友会を、次の世代に渡してほしい」と挨拶を述べ無事式典は終了した。引き続いて行われた「遊ing コミュニケーションタイム」では、柳敏晴氏（神戸YMCAフィットネスセンター所長）が、「これからの社会とウェルネス（新しい健康の考え方）」をテーマに、社会



◀ 真剣に取りこんでいる姿



▶ 考えすぎて中でまとまらずロビー迄飛び出た面々

人の一日をスライドで説明、その後、「NASA」の体験学習の一部導入説明が行われた。次に参加者全員が小グループに分かれ、そろいのTシャツに着替え、you I遊ing のコミュニケーションタイム「NASA」の体験実習へと突入した。

（「NASA」については後述）

1時間半程休憩（この間、グループ長、常任幹事合同会議開催）の後、懇親会々場である神戸ポートピアホテル地階、偕楽の間に於て記念撮影、羽瀧神戸印刷若人会幹事長の歓迎の挨拶、福引き大抽選会の趣旨説明の後、

竹田前会長の乾杯の音頭により懇親へと入った。懇親会場では、柳氏より「NASA」の結果発表と「六甲の水」が賞品として手渡されました。又、同時に福引きの特賞も発表された。アトラクションでは本場のサンバをと、神戸の「コパカバーナサンバチーム」と「神戸っ子サンバチーム」の入場となり、会場一周のあと特設ステージせましと踊りまわった。ステージ前にはサンバにかぶり付き、目尻を下げて見入るメンバーも多かった。又「神戸印刷若人会サンバチーム」によるサンバのステップも見事であった……？ムードも盛り上



がった所で「お手々つないで」の大団団が出来、常任幹事の神戸印刷若人会和田君の万歳三唱でお開きとなり、夜の神戸へと散会していった。

翌日22日は再び神戸国際交流会館メインホールに於て、午前9時30分より、作家の藤本義一氏を迎え「ゆとり」をテーマに講演会が開かれた。講演会は兵庫県印刷工業組合協賛のもと500名近い人が藤本さんの話術に時間を忘れ聞き入っていた。

緑友会寄付金「神戸命の電話」へ

全国大会が終って1週間後の9月28日兵庫県印刷工業組合に於て、大会懇親会場で全国緑友のメンバーに協力願った福引きの売上げ金15万円が神戸印刷若人会より、全国印刷緑友会の名前で「神戸・命の電話」へ、羽瀨幹事長、高尾実行副委員長、兵庫県印刷工業組合理事長等が立会う中、寄贈されました。

遊ing コミュニケーションタイム—体験学習「NASA」コンセンサス（意見一致）を求めて—

先般、第28回全国印刷緑友会神戸大会に多数参加して頂き、会員一同心より深く感謝しております。

さて従来、分科会という形式で、参加者の意見交換と親睦を計ってきた大会が多く見られたのですが、神戸大会に於ましては遊ing コミュニケーションタイムという時間帯を設定いたしました。その理由は、古賀会長の今年度事業方針の一部にあります、総会・大会・セミナー等3大行事のそれぞれの性格を明確にし、より緊密なグループ同志、また会員同志のコミュニケーションを計るという項目において、セミナーは学習する場であり、総会とは年度のけじめをつける場であると考えれ

ば、神戸大会をコミュニケーションを計る場として前面に押し出してよいのではないかと考えたからです。

そして、遊び心をもちながら、短時間に1人でも多く、友人を作って頂き、心の中に大きなお土産をもって帰ってもらうことが出来る時間をどのようにして作るか、週に何度となく会議を持ち、メンバー全員から色々な意見を集め話し合いましたが、名案といえますか、我々の望むことを押し進めることのできる具体案がなかなか決まりませんでした。

そこで、あるメンバーが私共神戸印刷若人会が毎年ボランティアで行っております、「ジャガイモの販売」又は、皆様に懇親会の始まる前にチャリティとして御協力して頂きました「いのちの電話」への寄付などで関係のある、神戸YMCAの柳先生に相談しました所、「NASA（アメリカ航空宇宙局）」という体験学習があるということをお聞きし、我々若人会全員でこの学習を実際に体験いたしました。

この体験学習「NASA」を少し説明いたします。まず、小グループに分かれ、課題「月で遭難した時にどうするか」について、与えられた15品目を、必要不可欠と思われる順に順位をつけるのですが、最初は個人で決定（15分）し、次にグループ内の1人にリーダーになってもらい、全員の合意による集団決定（180分）を行います。この個人決定、及び集団決定の結果を比較検討することによってグループ内のコミュニケーションの有り方、リーダーシップ、又限られた時間内に決定していく上での協力過程のあり方、そして各個人による振り返りを体験的に学ぶというものです。皆様も感じられたように、解答ができる迄の過程、又は振り返りと言う項目において、私達が求めていたコミュニケーションタ



イムにうってつけの内容であることがわかりました。しかし、私共顔を合わせているメンバー同志でNASAを体験して成果があったのですが、全国から集まってこられ、始めて顔を合わすメンバーの多い中で、無作意に小グループ化して、はたして成果が上がるか心配しておりました。それと、この学習を行っていく上で各グループ内に1人ファシリテーターと言う役目をする者が必要であることを聞き、急遽若人会メンバーによるファシリテーターについて、勉強しなくてはならないことになりました。(ファシリテーターとは、基本的には学習を促進し、目標に向かっていくグループを支持したり、はげましたり、進行の具合をチェックしグループが目標を達成す

ることを助けるということで、直接参加を許されない者)

しかし、大会当日は皆様の何ごとにも参加しようとする気持ちと、何かを吸収しようという気持ちがあらゆる所で感じられ、我々が心配していた事は各グループとも開始早々ふつとんでしまい、あるグループでは非常に盛り上がったそうです。又ファシリテーターが時間を絶えずチェックしなくてはいけない位のグループも現れたそうです。後の反省会では、緑友会のメンバーのやる気、エネルギーな面に大いにふれる事ができ、改めて緑友会メンバーの素晴らしさを再確認しました。

どうも御協力ありがとうございました。



第3回九州・山口青年印刷人大会開催!!

10月12日(土)、福岡印刷若葉会の主管による第3回九州・山口青年印刷人大会が、13グループ130名の参加を得て盛大に催された。

今年は、やや変則的ではあるが、'85福岡印刷文化典の行事のひとつである第2回全国青年印刷人連絡会と共催の形がとられたため、参加総員は200名を超える規模となった。

第1部は、福岡印刷会館において、上智大学渡部昇一教授による「日本の体質、近未来への展望」と題した講演が行われ、その後会

場をタカクラホテルに移して、第2部式典、つづいてバズセッションと、プログラムにそって進められた。

続く懇親会は、全国各県からの組合代表者の大半が緑友メンバーであることも手伝って、締めくくりの緑友ソング「お手をつないで」に至るまで、終始和やかな、そして賑やかで楽しいパーティであった。

(北九州Y.P.クラブ白石記)



◀ 次回大会開催地
長野青年印刷人緑友会のメンバー



◀ 神戸若人会サンパチーム



◀ サンバにかぶりつき



ゲームで始めてゲームで終わるんですね。

結婚式へ行くだけで、よく吟味すると、式から始まり、新郎新婦の紹介、お色直し、キャンドルサービス、両親への花束贈呈など滑稽なことがいっぱいあるんです。だからこれは余裕でも遊びでもなく、間違いなんです。完全なる間違いの中を動いているわけです。これのなれの果てがフルムーンというものです。これも奇妙なものです。

日本のフルムーンをみてみますと、どこにも高峰秀子さんや上原謙さんはいません。ぼろぼろになっている。疲れ果てているんです。スケジュールのたて方がダメなんです、きっと。グリーン車に乗っている人を見るとほとんど会話がないうんです。ただレールの上を老夫婦が走って行くだけ。そこには、旅行、遊び、ゆとりがまったく感じられない。また、二組のフルムーン同志が相席すると、きまって嫁の悪口を言い合う。結婚式の時にお嫁さんから花束をもらって泣いた人がここで悪口を言っているんです。

その時おじいちゃんは知らん顔をしていますよ。その次にお互いの病気のさぐり合いが始まります。そして、30分ほどすると、4人共眠っています。結婚式の愚かさ、フルムーンの無気味さ、どうしようもないです。これが日本の縮図です。だからゆとりとか、計算とかの以前の問題です。今、自分達がなぜ生きていて、今なぜ動いているかという事をまったく考えずに動いていますね。これがバックになった日本列島です。

最近、日本の主婦はさかんにパートに働きに出ます。お父さんはちゃんと働いているのに、働きに行く。これでは生活の中のゆとりが全部失われます。疲れ果てるだけです。お互いに。お父さんの収入が最低であっても、子供とがんばっていく所に潤いがでてくる。

余裕があるかないかは遊ぶ時にもわかります。

自分に他人を付き合わず人、これが経営者です。付き合う人は絶対ダメです。「飲みに行こうか」という人は自分が仕事を終わっているんです。終わっているから自分の中の余裕みたいなものをさらに明白の活力にしようと思って言うんです。

また奥さんにはパート派の他に、カルチャー派というのがいるんです。カルチャー、カルチャーと言っていかにマダムみたいな顔をしています。カルチャーの意味がわかっていない。日本では「文化」と訳すけれど、「耕す」ことです。ところがこの奥さん、自分ではまったく耕していない。コンクリート詰めみたいな頭の中へ、いくら種をまいてもはじけるだけです。家に帰れば、「お父ちゃん伊勢物語っていいわね。」お父ちゃん曰く「伊勢よりめしや。」

次にボランティア奥さん。何でもボランティア、ボランティア。こんな国ないです。ボランティアというのは黙ってやるの。ボランティアの家庭へ行ったらごらん下さい。暗い。その家庭に「ボランティア、ボランティア」と言って奥さんが帰ってくると、お父さん怒って「わが家のボランティアをやれ。」つまり夫婦で意見の交換がなくなってしまったんです。そこでゆとりがどんどんなくなってしまいます。

そして、何もしない奥さん。これが一番悪い。テレビにかじりついて錯覚ばかりしている。たとえば、聖子ちゃんの結婚式をテレビで見ていて感動する奥さんもいるし、怒っている奥さんもいる。どちらも表面だけ見ているんです。批判力がなくなってきたんです。余裕がなくなってくると、批判力がなくなってくる。ゆとりがなくなってくると、批判力がなくなってくるんです。だから遊びも作られた遊びに入っていくんです。特にゴルフ。一生懸命やるんです。あれ日本だけです。ムチャクチャ回ってくる。これは遊びじゃないです。本当の遊びでしたらう



まい人ほどやらんでしょう。「今日は気分がのらないから途中で止めとこ」と言ってキャディにチップ渡して帰ったら、キャディがどれだけ喜ぶか、これが遊びですよ。

ゆとりというのは、頭なんです。遊びと、ゆとりを分離して考えるのは頭の役目で、遊びという行動を起こすのは体なんです。ところが、日本の場合は全部首から下が動いている。だから、ゆとりが生まれてこない。日本人の場合、首から上の事を完全に忘れてるんじゃないですか。頭の中に何があるかという事を考えることがゆとりへの第一歩でしょう。みなさんの頭の中に脳細胞という140億もの細胞があります。

20才を過ぎると、1日10万個づつ死んでいきます。酒を一杯飲むと1万個、タバコ一本吸うと500～570個、コーヒー一杯で350個ぐらい死にます。昔の人はうまかった。遊びに対してゆとりがあった。1日ずっと仕事して帰ってきて、コップ酒で2杯ほど飲んで細胞を殺したんです。そして熟睡で肉体を活性化させたんです。殺す必要もなく何も考えんと飲むからアル中になっている。酒に飲まれてウダウダ。

30才で細胞が0になっている人、80才でもものすごく持っている人います。つまり集中力があるかどうかです。脳細胞がなくなってくると軽い症状では、昔を懐かしがる人がある。「昔は良かった。もう一回こないかな。」もう来ないですよ。今を否定してはいけないんです。これが進行していくと、人の悪口を言う。その事によって無上の喜びを感じる。日本人に多いタイプですよ。それから愚痴っぽくなる。「オレは印刷なんかきらいや、芸大出て絵書きになろうと思っていたんや。」こんな事ばかり言っている。これでは何も出来ない。4番目になってくると食べ物だけに興味を持ってくる。「うまい物を食べたら、いつ死んでもいい。」犬以下ですな。

5番目に来たら終わりです。これは日常のことばの中に「苦労した」ということをすぐに言う。だいたいウソつきが多いです。生きていることはつらいことかもしれないけれど、人に言うべきじゃないです。それを子供に向かって言う親がいるんです。「おい、お前ひとりで大きくなったと思ったら間違いやで、お父さんはどれだけ苦労したか」お母さん「そうですね、お父さん苦労しましたね」と言う。子供は脳細胞死んでいませんから論理的にうまく言います。「おれ、頼んで生んでもらったのと違うで、子供は親を選んで生まれてくることはできないんだ。おれの方がどれだけ苦労しているか」理由がちゃんと通っているでしょ。本当に苦労した人は苦労したことは言いません。

思考能力というのは、考と行が重なりながら6通り出来上がるんです。自分でまず思い、これに行動をかける。つまり思考先行形態これが1番です。2番目が思考行動協同形態。3番目が行動先行形態、4番目が行動のみ、5番目が思考のみ、6番目が思考、行動共になしです。

思考先行形態の人、この人はテーマを先に言って、具体的に言ってくれます。思考行動協同体の人はわりと観念的なことを言います。次に行動先行形態の人は暗い話になる。それから行動のみという人、思考なし。これは困ったものです。もうあっけらかんとして言うんです。ゆとりも何もない。ゆとりというのは前の2つにある。3つ目からゆとりがなくなってくる。

皆さんの中で「あなたは何型ですか。どれが一番多いですか」と問われて、「2番目です」と答えたら付き合えません。嫌な人ですよこれは。次に多いのが大体5番目です。

こいつと会うと、おれと違う何かを与えてくれる。それがお互い集ってくるというのがこういう大会だと思えます。この時に発言をあまりしない人、発言するんだけども思考だけで



まい人ほどやらんでしょう。「今日は気分がのらないから途中で止めとこ」と言ってキャディにチップ渡して帰ったら、キャディがどれだけ喜ぶか、これが遊びですよ。

ゆとりというのは、頭なんです。遊びと、ゆとりを分離して考えるのは頭の役目で、遊びという行動を起こすのは体なんです。ところが、日本の場合は全部首から下が動いている。だから、ゆとりが生まれてこない。日本人の場合、首から上の事を完全に忘れていないですか。頭の中に何があるかという事を考えることがゆとりへの第一歩でしょう。みなさんの頭の中に脳細胞という140億もの細胞があります。

20才を過ぎると、1日10万個づつ死んでいきます。酒を一杯飲むと1万個、タバコ一本吸うと500～570個、コーヒー一杯で350個ぐらい死にます。昔の人はうまかった。遊びに対してゆとりがあった。1日ずっと仕事して帰ってきて、コップ酒で2杯ほど飲んで細胞を殺したんです。そして熟睡で肉体を活性化させたんです。殺す必要もなく何も考えんと飲むからアル中になっている。酒に飲まれてウダウダ。

30才で細胞が0になっている人、80才でもものすごく持っている人います。つまり集中力があるかどうかです。脳細胞がなくなってくると軽い症状では、昔を懐かしがる人がある。「昔は良かった。もう一回こないかな。」もう来ないですよ。今を否定してはいけないんです。これが進行していくと、人の悪口を言う。その事によって無上の喜びを感じる。日本人に多いタイプですよ。それから愚痴っぽくなる。「オレは印刷なんかきらいや、芸大出て絵書きになろうと思っていたんや。」こんな事ばかり言っている。これでは何も出来ない。4番目になってくると食べ物だけに興味を持ってくる。「うまい物を食べたら、いつ死んでもいい。」犬以下ですな。

5番目に来たら終わりです。これは日常のことばの中に「苦労した」ということをすぐに言う。だいたいウソつきが多いです。生きていることはつらいことかもしれないけれど、人に言うべきじゃないです。それを子供に向かって言う親がいるんです。「おい、お前ひとりで大きくなったと思ったら間違いやで、お父さんはどれだけ苦労したか」お母さん「そうですね、お父さん苦労しましたね」と言う。子供は脳細胞死んでいませんから論理的にうまく言います。「おれ、頼んで生んでもらったのと違うで、子供は親を選んで生まれてくることはできないんだ。おれの方がどれだけ苦労しているか」理由がちゃんと通っているでしょ。本当に苦労した人は苦労したことは言いません。

思考能力というのは、考と行が重なりながら6通り出来上がるんです。自分でまず思い、これに行動をかける。つまり思考先行形態これが1番です。2番目が思考行動協同形態。3番目が行動先行形態、4番目が行動のみ、5番目が思考のみ、6番目が思考、行動共になしです。

思考先行形態の人、この人はテーマを先に言って、具体的に言ってくれます。思考行動協同体の人はわりと観念的なことを言います。次に行動先行形態の人は暗い話になる。それから行動のみという人、思考なし。これは困ったものです。もうあっけらかんとして言うんです。ゆとりも何も無い。ゆとりというのは前の2つにある。3つ目からゆとりがなくなってくる。

皆さんの中で「あなたは何型ですか。どれが一番多いですか」と問われて、「2番目です」と答えたら付き合えません。嫌な人ですよこれは。次に多いのが大体5番目です。

こいつと会うと、おれと違う何かを与えてくれる。それがお互い集ってくるというのがこういう大会だと思うんです。この時に発言をあまりしない人、発言するんだけど思考だけで



発言した人、あるいは行動だけで来た人、思考と行動が協同であった人、思考先行型であった人、いろいろいると思いますが、自分で判断しながら他人の良い所を吸収する、これが大会の目的じゃないですか。

ただ神戸の町へ行って、神戸の夜を歩いてでは、どうしようもないですよ。家で皆さんの帰りを待っている人は誰かといいますと、留守番している奥さん方です。ところが日本の亭主は家に帰ったら何も言いません。奥さんが『どうでした神戸は』『あんなもんや』『どうでした

講演会』『いつもと一緒にや』『藤本義一、どうでした』『来たよ』『来たのはわかってるけどどうでした』『テレビと一緒にだ』何もいいません。だから何かひとつ持って帰って下さい。女房をニコッと笑わしたら、この300兆円のコンピューター（脳細胞）はかなりのものです。

でもくれぐれも言っときます。自信のある方だけに限ります。自信のない方は、きょうはとりあえずやめておいてください。かえって疑われます。『なんか神戸で悪いことやったかな』
(大笑い)

“各地のトピックス”

神戸印刷若人会

創立30周年迫る!!

神戸印刷若会も来る'86年6月27日で満30周年を迎えようとしております。内容、日時等は現在未定ですが、会員一同、一

丸となってこれに取り組んでおります。又、日時、場所等、決まれば皆様にもお知らせしたいと思っております。

東京プロセス製版青樹会

15周年記念式典

昭和61年2月22日(土) 京王プラザホテル
2時～4時 式典・記念講演会(コンコルドルーム)
懇親会(錦の間)
記念講演 マルマン 片山社長



第19回 全国印刷緑友会セミナーご案内

と き／昭和61年2月8日(土) P.M. 1:00開講

と ころ／名古屋市中村区名駅四丁目10番27号
第二豊田ビル(西館) 8階第二豊田ホール

登録費／15,000円

講 師

ドキュメンタリー作家	田 原 総一郎氏
ブラーフマンヨガセンター主宰	北 山 佐和子氏
鳥羽水族館長	中 村 幸 昭氏

プログラム 2月8日(土)

12:00~13:00	受 付
13:00~13:30	開 講 式
13:30~15:00	第 1 講 (CHALLENGE)
15:10~15:50	第 2 講 (CHANGE)
16:00~17:30	第 3 講 (CREATE)
17:30~18:10	記 念 撮 影
18:30~20:00	懇 親 会

主催・全国印刷緑友会 主管・常任幹事会(名古屋而立会)

全国印刷緑友会機関誌「緑友」第59号

〒812 福岡市博多区博多駅南4-15-17
祥文社印刷棟内 TEL 092-411-1611

発行人 古賀 健一 (福岡印刷若葉会)

編集人 和田 正 (神戸印刷若人会)

〈第28回全国印刷緑友会神戸大会〉

収支決算報告書

神戸印刷若人会

●収入の部

1. 登録料	8,370,000		
内訳	30,000 × 269人		
	20,000 × 15人		
1. 緑友会より	400,000		
1. 御祝金	280,000		
内訳	兵工組		
	関連業界団体	80,000	
1. 若人会より補助	78,007		
計	9,128,007		

●支出の部

1. 国際交流会館	741,600
1. ポートピアホテル	5,878,197
1. 講師料	660,000
内訳	藤本氏、車代共
	柳氏
1. 印刷費	523,500
1. 通信費	80,300
1. 観光資料 他	16,200
1. 遊ing 関係	304,550
内訳	Tシャツ
	賞品
1. 打合費	150,500
1. 記録費	70,110
1. アトラクション	352,500
1. コンパニオン	200,000
1. 雑費	150,550

計 9,128,007